

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年6月21日

施設名	高知県立土佐西南大規模公園 (中村地区)	所管課	土木部 公園下水道課
-----	-------------------------	-----	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人 四万十市公園管理公社	指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日
施設所在地	高知県四万十市下田ほか		
事業内容	1. 施設の運営に関する業務 (1) 施設等の利用に関する業務 (2) 施設等の利用料金の徴収 2. 施設等の維持管理に関する業務 (1) 施設等保守管理業務 (2) 清掃業務 (3) 植栽管理業務 (4) 運動施設管理業務 (5) 警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 (1) 公園の利用案内 (2) 利用促進のための企画等の実施 (3) 周辺市町村・団体等との協力、連携 (4) 県民やボランティア等との協働事業の推進 (5) 公園に関する情報の提供 (6) 公園に関する要望及び苦情の処理 (7) 緊急対応体制の確立 4. 物品の管理		
施設内容	【公園全体】 面積: 115.9ha (うち管理区域 34.6ha) 【オートキャンプ場】 約300人収容 テントサイト47区画(1回4,100円)、テングローサイト5区画(1回4,600円)、キャビンサイト22棟(1回10,800円)、総合管理棟1棟、多目的棟1棟、炊飯棟3棟、バーベキューサイト1棟 【遊戯施設】 展望広場、わんぱく広場、サンサンパークエリア、てづくり・いなかエリア 【運動施設】 ソフトボール場1面、テニスコート2面 【シャワー施設】 管理棟・サニタリー棟: 男女各3室 (1回100円) 洗濯機(1回200円)、乾燥機(1回100円)、 双海駐車場・平野駐車場: 共同4室 開園時間: オートキャンプ場(15:00~翌日13:00, 10:00~16:00) 多目的棟・付属設備(8:30~17:00) 休園日: 無休		
職員体制	常勤職員: 2人 契約職員: 1人 非常勤職員: 9人 合計: 12人		

「職員数は平成31年4月1日現在」

2 収支の状況

単位: 千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)
収入	県支出金	8,900	9,500	8,900
	使用料・手数料	33,834	33,024	35,184
	その他	534	357	924
	収入計 (a)	43,268	42,881	45,008
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	13,668	13,692	16,178
	人件費	28,231	27,589	28,830
	その他	2,268	2,238	0
	支出計 (b)	44,167	43,519	45,008
収支差額 (a) - (b)		△ 899	△ 638	0

3 利用状況

	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	16,700	16,117	16,500
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 宿泊者にチェックイン時にアンケート用紙を配布し、チェックアウト時の回収を継続的に実施している。「また利用したい」という利用者が多い。 (アンケート回答数252件)		
	○利用者意見等を踏まえた対策 キャビンサイトのエアコンの利用料金について、コインタイマー式を廃止したり、夜間のセンサーライトの設定時間を長くするなど、小さな不便を解消することで利用満足度向上に努めている。		
	○その他		
③その他特記事項			

4 平成30年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。 施設の維持管理について、整備や修繕の必要性を県へ提案する等前向きに取り組んでいる。 遊具の点検講習への継続的な参加及び火災時の避難訓練等にも取り組み、利用者の安全性の確保に努めている。 利用状況に応じて、業務計画以上の点検、清掃を実施し、適正な管理運営を心掛けている。 利用者への情報提供では、ホームページでとまろっとの予約状況を随時公開する他、ブログで公園内で実施したイベントの記録を更新しており、評価できる。
②利用者サービスの維持向上	事業計画に基づいて適正に行われた。 宿泊客にアンケートを実施し、利用状況を分析するとともに、利用者の感想や要望を把握し対応策を検討するなど、利用者の満足度の向上に努めている。 また、外国人の利用者に対応するために、英語研修(3回/年)に参加するなどサービスの向上に努めている。
③利用実績	大阪地震、西日本豪雨及び高速道路の橋桁滑落、台風等により、県外利用者数が減少したが、修学旅行の宿泊や連休、キャンプブームにより、オートキャンプ場施設全体の利用者数は前年度比96.6%と大幅な減少とはならなかった。
④収支の状況	自然災害や悪天候の影響をうけ、利用料収入は前年度比97.6%となった。
総合評価	A 協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が適正に実施されている。 ホームページやSNSを活用した情報発信を行い、外国人を含む遠方からの新規顧客が増加するなど、積極的な広報活動が効果を上げている。 利用者アンケートの回答からは、また利用したいとの回答が多く、利用者から高い評価を得ていることも利用者の増加につながっているものと考えている。 天候により利用者数が大きく左右される環境にあるが、利用者の増加やリピーターの獲得に取り組んでいただきたい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの